

工房系ランドセルメーカーの老舗「土屋鞆」
2023年度入学用ランドセル全63製品販売、カタログ予約開始
トレンドの“ジェンダーレス”製品の.new色や著名ファッションブランドとの初コラボも
年々早まる「ラン活」の最初のステップに

工房系ランドセルメーカーの老舗、(株)土屋鞆製造所(東京都足立区、以下当社)は、2023年度に小学校へ入学する子ども用のランドセル全63製品を、2022年3月上旬から販売開始します。

販売は、全国11都府県14店舗*(直営店11店[10都府県]と提携店3店[3都県])で行うほか、店舗のない道府県への出張店舗も展開します。出張店舗は2022年3月から随時展開し、開催する県や市を今年(2021年)の24道府県24都市より増やす予定です。 ※2021年10月時点の店舗数

製品は、全63種で、カラーは約50色を用意します。以前主流だった「女の子は赤、男の子は黒」という固定観念がなくなっているランドセル市場において、過去最多級の種類とカラーを取り揃え、「好みの多様化」に対応します。

この度、その全製品を掲載するカタログの予約を開始します。発行部数は20万部を予定しています。2021年10月5日(火)から当社ホームページで受け付けます。

ランドセル商戦が年々早まるなか、カタログ予約の開始日を例年より約1カ月前倒し、「ラン活」の最初のステップとして提案します。カタログの到着は早くも2月初旬を予定しています。

全63製品のラインアップは、2022年2月初旬に、当社WEBサイトで公開します。

100グラムの軽量化に成功、タブレット端末の収納にサイズは1センチアップ 今年大ヒットしたジェンダーレス製品からは新色！著名ブランドとのコラボも初登場

2023年度は、機能性にさらにこだわったモデルも登場します。素材の一部を従来の牛革から人工皮革に切り替えることで100グラムの軽量化を実現しながら、大マチ(一番大きな収納部の厚み)を約1センチサイズアップしてタブレット端末などを、より収納しやすくします。

また、性別の枠にとらわれないカラーを目指して開発した、ジェンダーレスのランドセル

「RECO(レコ)」の.new色も発売します。今年、2022年度用の製品として初登場した「レコ」(5種)は大ヒットし、全61製品の中で売り上げ1位を含む4製品がトップ5に入りました。シリーズ全体の全売り上げは全製品の約2割を占める人気ぶりです。

新作シリーズも登場します。目玉は、著名ファッションブランドとの初のコラボモデルで、2022年1月に発表します。



写真集のような美しいデザイン。
(画像は2022年度向け製品カタログの一部。左が表紙)

土屋鞆のランドセル

過去最多級の約 20 万部を配布予定、外出控えるご家庭の自宅でのランドセル選びに

今回のカタログは、過去最多級の約 20 万部を発行する予定です。本カタログは、コロナ禍で外出を控えるご家族らから「自宅でのランドセル選びに便利」と好評です。またお子さまが 6 年間安心して使えるランドセル選びのポイントや、職人の思い、製品の質の高さを伝えます。

またカタログの紙は、森林保全に配慮した国際認証「FSC 認証」を受けたものを使います。

土屋鞆のランドセル カタログ予約概要

申込方法	土屋鞆 WEB サイトで予約受付 (https://tsuchiya.bz/catalog2023) ※10月5日(火)午前 10:00 頃公開予定		
予約受付	2021 年 10 月 5 日(火)から	配布部数	20 万部を予定
受付終了	配布予定数に達し次第	料金	無料
内容	◇2023 年度ご入学向けランドセル全ラインアップ(8 シリーズ 63 製品) ・ジェンダーレスシリーズ「RECO(レコ)」の新品 ・著名ファッションブランドとのコラボモデル ほか		
備考	カタログ発送先は国内のみ。環境に配慮し、FSC 認証を受けた紙を使用します		
一般問合せ	お客様サポート係 Tel: 0120-907-647(平日 10:00~17:00) ※年末年始休業・臨時休業あり		

<ランドセルのトレンドについて>

性別を問わないジェンダーレス仕様に各社注力

◇スマッシュヒット！土屋鞆「レコ」について

土屋鞆では、性別の枠にとらわれないカラーを目指して開発した、2022 年度入学用ランドセルの新シリーズ「RECO(レコ)」(税込 79,000 円)の販売が好調です。今年 3 月 10 日(水)の注文受付開始以来、全 61 製品のランドセルの売り上げのうち約 2 割を同シリーズが占めています。

「レコ」は、「色選びの自由を広げる」というコンセプトのもと、性別を問わないジェンダーレスなベーシックカラー全 5 色(ディープレッド、ブラウン、ネイビーなど)を採用。鮮やかな原色ではない、モダンでベーシックな色が引き立つよう、背あてや内装は同系色に揃え、すっきりとしたデザインに仕上げています。

「お子さまの個性に合わせて好きな色を選んでほしい」という思いから、カタログや WEB サイトでは、性別で分けた製品案内はしていません。「レコ」は、そうした考えを形にしたシリーズです。

2023 年度入学用では、既存カラーに加え、新たなカラーもラインアップします。

◇各社も「ジェンダーレス」なランドセルに注力

親世代の価値観の変化を受け、ランドセルも「男の子は黒、女の子は赤」といった従来の傾向はますます薄れ、メーカー各社が“性別の枠にとらわれないデザインやカラーの商品”に力を入れています。

流通大手やオフィス家具大手らが、ジェンダーレスな新商品を今年(2022 年度用)、相次ぎ発売しました。「可愛すぎたり」「キラキラ光ったり」「原色カラー」ではない、シンプルさや中性さ、モダンさを表現した色やカラー展開が、いまトレンドになっています。



一番人気の「RECO(レコ)」

◇ランドセルのジェンダーレス化に 8 割の親が賛成

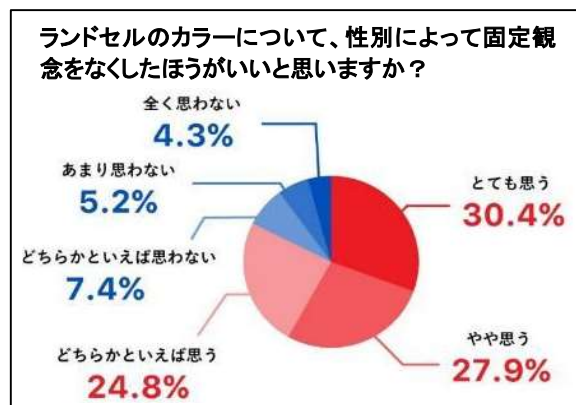
実際に、当社が 4 月に実施した調査※1でも、ランドセルのカラーについて「性別による固定観念をなくしたほうがいいと思う」と回答した親が 8 割を超える結果となっています。

※1 土屋鞆製造所

「ランドセル選びに関するアンケート調査」

(2021.4.14～4.15、2022 年に小学校に入学するお子さまを持つ親 326 人にインターネット調査を実施)
詳細はこちらからご覧いただけます

URL: <https://bre.is/ugKbLuox>



<土屋鞆のランドセルについて>

約 200 人の職人が手作り、工房系を代表するブランド「土屋鞆」について

「土屋鞆製造所」は 1965 年創業、革製品を扱う老舗の鞆メーカーです。

職人が一つひとつ手作りする工房系ランドセルメーカーを代表するブランドとして、日本製の高品質なランドセルを提供しています。卒業する日までの 6 年間、無償修理の保証を付けるなど、職人が見守り続けるサービスの質も利用者に支持されています。

そんな高品質なものづくりを支えるのが、約 200 人の職人です。

職人たちは、店舗併設型の工房「土屋鞆製造所 西新井本店」(東京・足立区)と「同 軽井澤工房店」(長野・軽井沢町)、また工房の「同 佐久工房」(長野・佐久市)でランドセルづくりに打ち込んでいます。

ランドセルは、150 以上のパーツを使い、300 を超える工程(手仕事)をかけて完成します。分業制でこしらえる一つのランドセルは、50 人以上の人間が携わります。何十年も活躍するベテランから若手まで、平均年齢 30 代のランドセル職人が日々、切磋琢磨しています。

老舗ながら、新しいランドセルやサービスに着手する、時代の変化を捉えるブランド(メーカー)で、例えばカラーバリエーションも 20 年前から増やし、いまでは約 50 色を揃えます。

(株)土屋鞆製造所 会社概要

社名	株式会社土屋鞆製造所	創業	1965 年
本社	123-0841 東京都足立区西新井 7-15-5	資本金	7000 万円
代表	代表取締役社長 土屋成範	URL	https://tsuchiya-randoseru.jp/
事業内容	オリジナルブランドでの皮革製品を中心としたランドセル、鞆・小物の企画・製作、及び販売		

ランドセル製品に関する一般からの問い合わせ先

Tel : 0120-907-647 (平日 10:00～17:00 ※年末年始休業・臨時休業有り)

窓口名：株式会社 土屋鞆製造所 お客様サポート係

報道各位からの問い合わせ先

(株)ハリズリー ※ハリズリーは(株)土屋鞆製造所の親会社です

広報事務局((株)Clover PR 内) 担当: 富田(070-2666-6165)、福本(070-6466-6062)、澤本
03-6452-5220(tel) harizury-pr@cloverpr.net(mail)

or (株)土屋鞆製造所 広報: 高橋 070-7772-7692(tel) press@tsuchiya-kaban.com(mail)